

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年6月12日まで（2011年9月26日設定）	
運用方針	ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド 受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て 公社債等を実質的な主要投資対象とし、利 子収益の確保および値上がり益の獲得をめざ します。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を 維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として 為替ヘッジを行いません。ただし、実質組入 比率の調整等を目的として為替予約取引等を 活用する場合があります。	
主要運用対象	ベビーフ ファンド	ネクスト・グロース・ボンド・マ ザーファンド受益証券を主要投 資対象とします。
	マザー ファンド	新興国の通貨建て公社債等を主 要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフ ファンド	外貨建資産への実質投資割合に 制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限 を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評 価益を含みます。）等の全額を分配対象額と し、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を 勘案して委託会社が決定し、原則として配当 等収益等を中心に安定した分配をめざしま す。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、 安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内 で委託会社が決定する額を付加して分配する 場合があります。なお、分配対象収益が少額 の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュ
ニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ネクスト・グロース・ボンド・オープン （毎月決算型）

愛称：夢こよみ

第105期（決算日：2020年7月13日）
第106期（決算日：2020年8月13日）
第107期（決算日：2020年9月14日）
第108期（決算日：2020年10月13日）
第109期（決算日：2020年11月13日）
第110期（決算日：2020年12月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「ネクスト・グロース・ボンド・
オープン（毎月決算型）」は、去る12月14日に第110期
の決算を行いましたので、法令に基づいて第105期～
第110期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
81期(2018年7月13日)	4,852		70	1.5	94.5	—	2,504
82期(2018年8月13日)	3,859		70	△19.0	95.5	—	1,867
83期(2018年9月13日)	3,936		70	3.8	94.2	—	1,822
84期(2018年10月15日)	4,216		70	8.9	94.3	—	1,880
85期(2018年11月13日)	4,369		70	5.3	94.4	—	1,868
86期(2018年12月13日)	4,356		40	0.6	92.4	—	1,844
87期(2019年1月15日)	4,355		40	0.9	94.9	—	1,822
88期(2019年2月13日)	4,638		40	7.4	95.6	—	1,936
89期(2019年3月13日)	4,542		40	△1.2	96.0	—	1,894
90期(2019年4月15日)	4,333		40	△3.7	95.7	—	1,798
91期(2019年5月13日)	3,952		40	△7.9	94.0	—	1,628
92期(2019年6月13日)	4,235		40	8.2	94.1	—	1,730
93期(2019年7月16日)	4,342		40	3.5	94.2	—	1,747
94期(2019年8月13日)	4,443		40	3.2	95.1	—	1,763
95期(2019年9月13日)	4,547		40	3.2	95.7	—	1,783
96期(2019年10月15日)	4,484		40	△0.5	95.4	—	1,722
97期(2019年11月13日)	4,733		40	6.4	94.5	—	1,784
98期(2019年12月13日)	4,817		40	2.6	94.0	—	1,703
99期(2020年1月14日)	4,915		40	2.9	96.0	—	1,679
100期(2020年2月13日)	4,874		40	△0.0	95.3	—	1,556
101期(2020年3月13日)	4,023		40	△16.6	95.8	—	1,278
102期(2020年4月13日)	3,817		40	△4.1	96.2	—	1,210
103期(2020年5月13日)	3,807		40	0.8	94.6	—	1,210
104期(2020年6月15日)	4,037		40	7.1	96.7	—	1,280
105期(2020年7月13日)	4,001		40	0.1	94.0	—	1,256
106期(2020年8月13日)	3,753		40	△5.2	95.6	—	1,162
107期(2020年9月14日)	3,800		40	2.3	95.3	—	1,160
108期(2020年10月13日)	3,639		40	△3.2	96.1	—	1,094
109期(2020年11月13日)	3,763		40	4.5	96.2	—	1,117
110期(2020年12月14日)	3,693		40	△0.8	95.6	—	1,067

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第105期	(期 首) 2020年6月15日	円 4,037		% —	% 96.7		% —
	6月末	4,063		0.6	96.9		—
	(期 末) 2020年7月13日	4,041		0.1	94.0		—
第106期	(期 首) 2020年7月13日	4,001		—	94.0		—
	7月末	3,922		△2.0	94.5		—
	(期 末) 2020年8月13日	3,793		△5.2	95.6		—
第107期	(期 首) 2020年8月13日	3,753		—	95.6		—
	8月末	3,773		0.5	94.2		—
	(期 末) 2020年9月14日	3,840		2.3	95.3		—
第108期	(期 首) 2020年9月14日	3,800		—	95.3		—
	9月末	3,618		△4.8	96.1		—
	(期 末) 2020年10月13日	3,679		△3.2	96.1		—
第109期	(期 首) 2020年10月13日	3,639		—	96.1		—
	10月末	3,476		△4.5	96.4		—
	(期 末) 2020年11月13日	3,803		4.5	96.2		—
第110期	(期 首) 2020年11月13日	3,763		—	96.2		—
	11月末	3,781		0.5	95.9		—
	(期 末) 2020年12月14日	3,733		△0.8	95.6		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第105期～第110期：2020年6月16日～2020年12月14日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第105期首	4,037円
第110期末	3,693円
既払分配金	240円
騰落率	-2.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことやメキシコ金利が低下したこと、メキシコペソが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

トルコ金利が上昇したことや、トルコリラが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第105期～第110期：2020年6月16日～2020年12月14日

投資環境について

▶ 債券市況

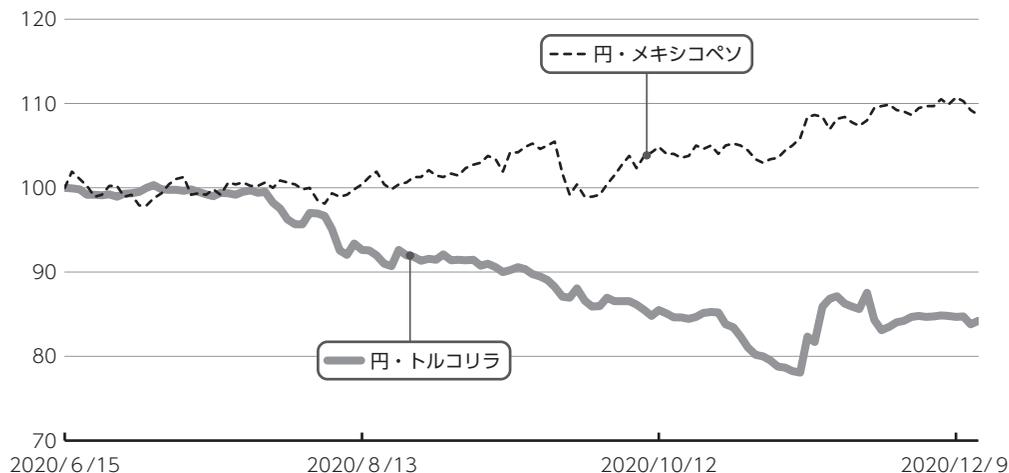
トルコの金利は上昇し、メキシコの金利は低下しました。

トルコでは、高いインフレ率、地政学的リスクの高まりなどから投資家のリスクセンチメントが悪化したことが金利の上

昇要因となり、トルコ金利は上昇しました。

メキシコでは、中央銀行による緩和的な金融政策スタンスなどが金利の低下要因となり、メキシコ金利は低下しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

トルコリラは対円で下落し、メキシコペソは対円で上昇しました。

投資家のリスクセンチメントの悪化を受けて、トルコリラは対円で下落しました。

米大統領選においてバイデン候補が勝利するとの見方が台頭し、メキシコの対米関係改善期待が高まったことや、その後米大統領選での大勢判明を受けて、メキシコペソは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債に投資しています。

▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2ヵ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。

当作成期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日
当期分配金 （対基準価額比率）	40 (0.990%)	40 (1.055%)	40 (1.042%)	40 (1.087%)	40 (1.052%)	40 (1.072%)
当期の収益	20	21	26	20	25	22
当期の収益以外	19	18	14	19	15	17
翌期繰越分配対象額	4,052	4,033	4,020	4,000	3,986	3,969

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2ヵ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。

市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。

今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

2020年6月16日～2020年12月14日

1万口当たりの費用明細

項目	第105期～第110期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	28	0.742	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.330)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(15)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.050	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.047)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	30	0.792	

作成期中の平均基準価額は、3,805円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

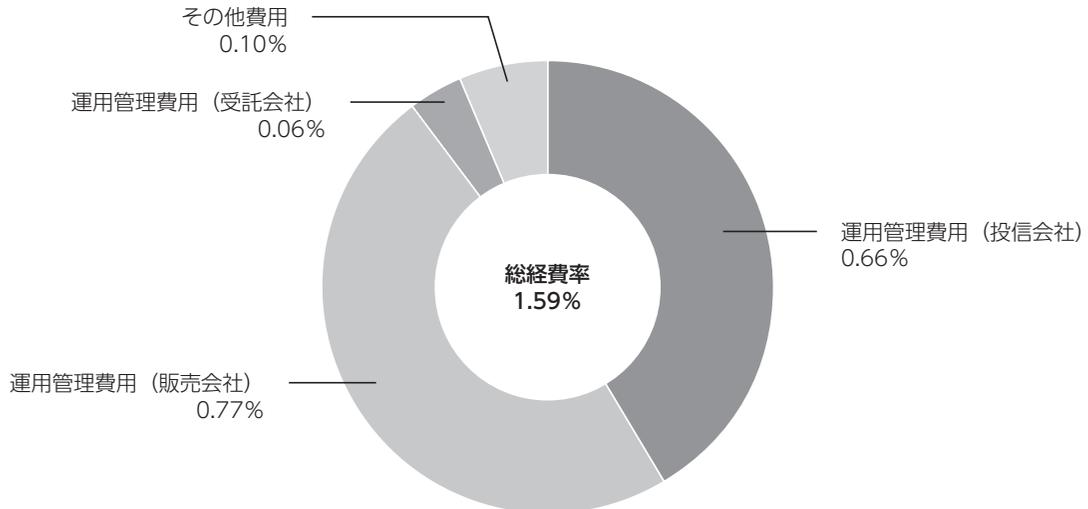
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.59%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2020年12月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第105期～第110期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	千口 17,221	千円 18,647	千口 194,383	千円 206,754

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2020年12月14日)

利害関係人との取引状況

<ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド>

区 分	第105期～第110期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 92	百万円 —	% —	百万円 286	百万円 113	% 39.5

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第104期末	第110期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	千口 1,169,269	千口 992,107	千円 1,064,432

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	第110期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	1,064,432	97.7
コール・ローン等、その他	24,954	2.3
投資信託財産総額	1,089,386	100.0

(注) ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(1,057,657千円)の投資信託財産総額(1,085,347千円)に対する比率は97.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=5.17円	1トルコリラ=13.25円		
---------------	---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末
	2020年7月13日現在	2020年8月13日現在	2020年9月14日現在	2020年10月13日現在	2020年11月13日現在	2020年12月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,270,347,189	1,176,147,434	1,174,958,608	1,108,335,298	1,133,978,143	1,089,386,216
コール・ローン等	4,304,160	4,181,897	4,262,054	3,841,063	3,656,784	4,053,087
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド(評価額)	1,253,378,466	1,159,325,398	1,157,436,760	1,092,419,475	1,114,580,728	1,064,432,642
未収入金	12,664,563	12,640,139	13,259,794	12,074,760	15,740,631	20,900,487
(B) 負債	14,028,601	14,034,144	14,773,530	13,366,985	16,770,038	22,327,532
未払収益分配金	12,559,471	12,387,012	12,212,070	12,037,220	11,875,275	11,557,312
未払解約金	1,001	89,224	1,047,488	—	3,541,206	9,365,642
未払信託報酬	1,463,582	1,553,086	1,509,281	1,325,651	1,349,367	1,400,230
未払利息	2	2	7	1	2	3
その他未払費用	4,545	4,820	4,684	4,113	4,188	4,345
(C) 純資産総額(A-B)	1,256,318,588	1,162,113,290	1,160,185,078	1,094,968,313	1,117,208,105	1,067,058,684
元本	3,139,867,768	3,096,753,248	3,053,017,596	3,009,305,032	2,968,818,771	2,889,328,225
次期繰越損益金	△1,883,549,180	△1,934,639,958	△1,892,832,518	△1,914,336,719	△1,851,610,666	△1,822,269,541
(D) 受益権総口数	3,139,867,768口	3,096,753,248口	3,053,017,596口	3,009,305,032口	2,968,818,771口	2,889,328,225口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,001円	3,753円	3,800円	3,639円	3,763円	3,693円

○損益の状況

項 目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 112	△ 95	△ 162	△ 42	△ 61	△ 55
受取利息	8	1	—	—	—	1
支払利息	△ 120	△ 96	△ 162	△ 42	△ 61	△ 56
(B) 有価証券売買損益	2,739,012	△ 62,999,544	28,201,158	△ 35,231,386	50,202,056	△ 7,275,062
売買益	2,987,944	221,008	28,324,185	188,128	50,428,258	248,056
売買損	△ 248,932	△ 63,220,552	△ 123,027	△ 35,419,514	△ 226,202	△ 7,523,118
(C) 信託報酬等	△ 1,468,127	△ 1,557,906	△ 1,513,965	△ 1,329,764	△ 1,353,555	△ 1,404,575
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 1,270,773	△ 64,557,545	26,687,031	△ 36,561,127	48,848,440	△ 8,679,692
(E) 前期繰越損益金	△ 606,466,496	△ 601,093,950	△ 659,624,832	△ 629,101,623	△ 659,980,974	△ 598,934,369
(F) 追加信託差損益金	△1,265,793,986	△1,256,601,451	△1,247,682,647	△1,236,636,684	△1,228,602,857	△1,203,098,168
(配当等相当額)	(1,278,118,853)	(1,254,715,323)	(1,231,519,637)	(1,209,698,288)	(1,187,801,147)	(1,151,683,795)
(売買損益相当額)	(△2,543,912,839)	(△2,511,316,774)	(△2,479,202,284)	(△2,446,334,972)	(△2,416,404,004)	(△2,354,781,963)
(G) 計(D+E+F)	△1,870,989,709	△1,922,252,946	△1,880,620,448	△1,902,299,499	△1,839,735,391	△1,810,712,229
(H) 収益分配金	△ 12,559,471	△ 12,387,012	△ 12,212,070	△ 12,037,220	△ 11,875,275	△ 11,557,312
次期繰越損益金(G+H)	△1,883,549,180	△1,934,639,958	△1,892,832,518	△1,914,336,719	△1,851,610,666	△1,822,269,541
追加信託差損益金	△1,271,759,735	△1,262,175,606	△1,251,956,872	△1,242,354,364	△1,233,056,086	△1,208,010,026
(配当等相当額)	(1,272,183,295)	(1,249,159,776)	(1,227,269,414)	(1,203,997,693)	(1,183,366,827)	(1,146,794,030)
(売買損益相当額)	(△2,543,943,030)	(△2,511,335,382)	(△2,479,226,286)	(△2,446,352,057)	(△2,416,422,913)	(△2,354,804,056)
分配準備積立金	102,159	66,123	231,856	20,656	235,645	207,742
繰越損益金	△ 611,891,604	△ 672,530,475	△ 641,107,502	△ 672,003,011	△ 618,790,225	△ 614,467,257

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 3,171,022,501円
 作成期中追加設定元本額 91,100,566円
 作成期中一部解約元本額 372,794,842円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3693円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,822,269,541円です。

③分配金の計算過程

項 目	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日	2020年9月15日～ 2020年10月13日	2020年10月14日～ 2020年11月13日	2020年11月14日～ 2020年12月14日
費用控除後の配当等収益額	6,445,998円	6,778,606円	8,104,838円	6,112,600円	7,637,402円	6,625,025円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	1,278,149,044円	1,254,733,931円	1,231,543,639円	1,209,715,373円	1,187,820,056円	1,151,705,888円
分配準備積立金額	249,883円	100,374円	64,863円	227,596円	20,289円	228,171円
当ファンドの分配対象収益額	1,284,844,925円	1,261,612,911円	1,239,713,340円	1,216,055,569円	1,195,477,747円	1,158,559,084円
1万口当たり収益分配対象額	4,092円	4,073円	4,060円	4,040円	4,026円	4,009円
1万口当たり分配金額	40円	40円	40円	40円	40円	40円
収益分配金金額	12,559,471円	12,387,012円	12,212,070円	12,037,220円	11,875,275円	11,557,312円

○分配金のお知らせ

	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド

《第9期》決算日2020年6月15日

[計算期間：2019年6月14日～2020年6月15日]

「ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド」は、6月15日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を複数選定します。 各国の通貨別資産配分は、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。 市場急変等の際に先進国の流動性の高い公社債等へ投資を行う場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
主 要 運 用 対 象	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率			
5期(2016年6月13日)	12,219	△18.3%	92.7%	—	530 百万円
6期(2017年6月13日)	12,213	△0.0	91.2	—	819
7期(2018年6月13日)	9,883	△19.1	94.5	—	2,586
8期(2019年6月13日)	10,114	2.3	94.3	—	1,726
9期(2020年6月15日)	10,922	8.0	97.0	—	1,277

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券優先物比率	債券率
			騰	落率			
	(期首)		円	%			%
	2019年	6月13日	10,114	—	94.3		—
	6月末		10,385	2.7	95.2		—
	7月末		11,082	9.6	94.9		—
	8月末		10,434	3.2	95.9		—
	9月末		11,428	13.0	95.5		—
	10月末		11,894	17.6	95.9		—
	11月末		11,945	18.1	94.7		—
	12月末		12,163	20.3	94.6		—
	2020年	1月15日	12,656	25.1	96.0		—
	2月末		11,892	17.6	95.6		—
	3月末		10,212	1.0	95.8		—
	4月末		10,201	0.9	96.0		—
	5月末		10,903	7.8	94.3		—
	(期末)						
	2020年	6月15日	10,922	8.0	97.0		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、メキシコ・トルコの両国で金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

メキシコペソ・トルコリラが、対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・トルコおよびメキシコの金利は低下しました。
- ・トルコでは、過度なインフレ率が落ち着き始めたことなどをを受けて中央銀行が利下げを実施したことなどから、2020年1月末にかけてトルコ金利は低下しました。その後、新型コロナウイルスの拡散により世界経済の減速懸念が高まり、

投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、トルコ金利が上昇しました。結果、期を通じてみると、トルコ金利は低下しました。

- ・メキシコでは、トルコと同様に新型コロナウイルスの影響で投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、金利が一時的に上昇する局面が見られたものの、景気の下支えなどを目的に中央銀行が利下げを実施したことなどから、期を通じてみるとメキシコ金利は低下しました。

◎為替市況

- ・トルコリラおよびメキシコペソは対円で下落しました。
- ・投資家のリスクセンチメントの悪化を受けて、トルコリラおよびメキシコペソは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。
- ・期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。

○今後の運用方針

- ・新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ・投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2カ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。
- ・市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年6月14日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	11	0.094	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(10)	(0.093)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
	(0)	(0.001)	
合 計	11	0.094	
期中の平均基準価額は、11,212円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月14日～2020年6月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 19,761	千メキシコペソ 43,887
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 2,519	千トルコリラ 18,153

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月14日～2020年6月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 67	百万円 —	% —	百万円 677	百万円 260	% 38.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 120,800	千メキシコペソ 130,728	千円 622,268	% 48.7	% —	% 30.0	% 6.2	% 12.6
トルコ	千トルコリラ 40,300	千トルコリラ 39,178	千円 616,275	48.3	48.3	22.6	13.0	12.7
合 計	—	—	1,238,543	97.0	48.3	52.6	19.2	25.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	6,000	6,084	28,964	2026/3/5
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	32,700	33,693	160,379	2022/6/9
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	15,800	17,397	82,810	2027/6/3
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	17,100	19,130	91,060	2031/5/29
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	18,500	19,751	94,017	2042/11/13
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	15,100	16,511	78,594	2023/12/7
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	5,000	5,858	27,885	2029/5/31
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	10,600	12,301	58,555	2038/11/18
小 計					622,268	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
国債証券	10.6 TURKEY GOVT 260211	10.6	13,850	13,323	209,581	2026/2/11
	11 TURKEY GOVT 270224	11.0	5,200	4,989	78,483	2027/2/24
	8.8 TURKEY GOVT 230927	8.8	5,950	5,729	90,130	2023/9/27
	9 TURKEY GOVT 240724	9.0	5,100	4,862	76,492	2024/7/24
	9.2 TURKEY GOVT 210922	9.2	2,000	2,020	31,774	2021/9/22
	9.4 TURKEY GOVT 200708	9.4	1,500	1,504	23,663	2020/7/8
	9.5 TURKEY GOVT 220112	9.5	6,700	6,748	106,148	2022/1/12
小 計					616,275	
合 計					1,238,543	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,238,543	% 94.0
コール・ローン等、その他	78,616	6.0
投資信託財産総額	1,317,159	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,275,718千円) の投資信託財産総額 (1,317,159千円) に対する比率は96.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=4.76円	1トルコリラ=15.73円	
---------------	---------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,317,159,722
コール・ローン等	57,602,531
公社債(評価額)	1,238,543,515
未収利息	20,449,125
前払費用	564,551
(B) 負債	40,054,503
未払金	19,630,400
未払解約金	20,424,091
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	1,277,105,219
元本	1,169,269,843
次期繰越損益金	107,835,376
(D) 受益権総口数	1,169,269,843口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,922円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,706,645,118円
 期中追加設定元本額 42,215,885円
 期中一部解約元本額 579,591,160円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0922円です。

- ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 ネクスト・グロース・ボンド・オープン (毎月決算型) 1,169,269,843円

○損益の状況 (2019年6月14日～2020年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	128,183,411
受取利息	128,194,891
支払利息	△ 11,480
(B) 有価証券売買損益	48,306,441
売買益	237,801,311
売買損	△189,494,870
(C) 保管費用等	△ 1,487,839
(D) 当期損益金(A+B+C)	175,002,013
(E) 前期繰越損益金	19,396,011
(F) 追加信託差損益金	3,816,654
(G) 解約差損益金	△ 90,379,302
(H) 計(D+E+F+G)	107,835,376
次期繰越損益金(H)	107,835,376

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。